

一般社団法人 広島県中小企業家同友会 尾道支部 会報誌

【尾道支部 2024 年度スローガン】 同友会を活用し、新たな未来を築こう！～すべては自社のために～

福嶋 広貴氏

取締役

有限会社理興

イベント業界の毛利家へ！

【新会員紹介】

R&Rレンタル 尾道サテライトショップ

☎20-327

毛利家へ！

尾道観光協会

三原商工会議所会員章

メルペイ

R&R
レンタル尾道



月¥3.0

今月の見どころ

3月支部例会は、「創業10年 経営指針に出会って5年の変革」のテーマで、(株)ファーストスタッフ代表取締役の高藤孝一氏(広島西支部副支部長)に報告していただきました。今回の報告から、経営指針(経営理念、10年ビジョン、経営方針、経営計画)を実践し、経営者自身が変わっていく事と、経営指針を成文化し会社の方向性を示す事で少しずつ社員の意識も変わり、自主的に動いてくれるようになることを学びました。そして大事になるのが継続です。経営指針を成文化して発表しても1回じゃ意味がありません。そのことを再認識しました。

INDEX

P2.3.....3月支部例会

P4.....新会員紹介

P5.....青年部会

P6.....支部理事会報告

P7.....行事案内、スケジュール

3月支部例会

創業10年 経営指針に出会って5年の変革

報告者

(株)ファーストスタッフ 代表取締役 高藤 孝一 氏 (広島西支部副支部長)

■日程：2025年3月25日(火) 18:45～20:45

■会場：尾道市役所 2F 多目的スペース

3月の尾道支部例会は広島西支部 副支部長の(株)ファーストスタッフ代表取締役の高藤孝一氏に体験報告をしていただき、オブザーバーや他支部会員含めて、41名で開催されました。

高藤氏は不動産トップ営業マンから仲間と共に(株)ファーストスタッフを創業しました。創業して日々がむしゃらに事業を展開していましたが、社員には無関心で、「入社したいならしろ。退職したいならしろ」という考え方でした。転機は創業5年目に同友会に入会し、経営指針書を作成したことでした。第1回指針書発表会では、社員にあまりにも伝わらず、社員の顔を見ることができませんでした。しかし、個人面談等で社員と向き合うことを継続することで、第3回指針書発表会からは社員が司会等の運営を手伝ってくれるようになりました。第5回は社員と共に作成した、指針書を金融機関・同友会会員・士業等、外部の方を招き開催しました。この指針書発表会が起点となり、金融機関からM&Aの案件が舞い込み、新たな事業展開にも繋がりました。経営指針書を作成することで自己変革し、社員と向き合う土台になり、外部に発信することで様々なシナジー効果が発揮されると感銘を受けました。

また、グループ討論では「会社の方向性をどう伝えていますか?」というテーマで討論しました。様々な意見が飛び交う中で、印象的だったのは、理念やビジョンの浸透に近道や効率性は無く、愚直に伝え続けることが大切だということでした。

懇親会でも高藤氏を囲み、例会の熱量のまま経営談義が行われました。

私も高藤氏から個人面談の目的や手法を改めて伺うことができ、学び多き日になりました。

ありがとうございました。

大平交通(株) 宍戸 孝行



例会報告者への感想、フィードバック

3月支部例会の参加者は41名でした。そのうち、37名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- 報告お疲れ様でした！この度は白羽の矢を受けていただきありがとうございます笑 益々のご活躍を楽しみにしています(^^)
- 経験をお話いただきありがとうございました。
- 有難う御座いました。
- 継続大事ですね
- 素直で真っ直ぐに学びある。と感じました。
- 遅刻のため、報告を拝聴できませんでした。申し訳ないです。
- 素晴らしいビジョンがあり良かったです 社員の給与700万という具体例も良かったです。
- 個人面談の大切さ、伝え続ける大切を学んだ。
- 一緒に例会作り出来て良かったです。ありがとうございました！
- 具体的は取り組みと成果を赤裸々に話してくれて、大変勉強になりました。ありがとうございます。
- 頼まれごとは試されごと。
- 素直にやること、続けること、学びました。
- 高藤さんの発表はシンプルでわかりやすかったです。事業意欲がさらに湧きました。
- 諦めない姿勢が素晴らしいと思いました。メンタル強すぎる。
- 経営指針書の活用をとてもされていて凄いなと思いました勉強になりました。
- 指針は作ったほうがいい。継続の大切さ。
- 初めて参加させてもらって、聞いて勉強になりました。
- 素晴らしい発表ありがとうございました。高藤さんからは「素直」さをすごく感じさせて頂きました。
- とても聞きやすくよかったです。特に印象に残った言葉は、続けることです。私も色々やっては頓挫してたので、とても悔しい言葉でした。
- 高藤さんが経営指針と出会い、経営や家庭でしっかり活用されていることが良く分かりました。
- すごく参考になりました。明日から個人面談やります！
- 先入観なく、言われたことや聞いたことをまず実践してみる柔軟さを感じました。
- よくまとまっていて、わかりやすかったです。
- 何故そう思ってるかを深く聞きたかった
- 経営指針の大切さ、伝え続けることで従業員に伝えることや各メンバーの伝え方を勉強しました。
- 経営指針を従業員に伝える、伝え続けることが大切と感じました。また、それを個人面談で1人ずつ伝えるということも大切だと感じました。
- 指針書の活用方法が学びになりました。金融機関も指針発表会に呼ぶことでMAに繋がるのだと発見できた。
- 想いを伝えるために指針書は重要なツールと気付きました。
- ありがとうございました。続けることが大切ということを学びましたので、続けていきます。
- 創業10年の歩みを正直に伝えてくださってたいへん参考になりました。
- 経営指針の必要性がすごく分かりやすい報告でした
- 経営指針書を作成したことで、個人面談にも繋げて社員同士や家族との関係性も業績も伸びていて素晴らしかったです。
- 高藤さんの丁寧な話し方がスゴく良いです！大切なのは続けることです。私の課題です。ありがとうございました。
- 高藤さんお疲れ様でした。方向性を伝えるのに経営指針書があると便利だなと改めて感じる高藤さんの報告でした。続けることが大事ですが、断らずにまずはやるのが大切だなと思いました。また理念検討シートをやり直して自分の方向性を見直してみようと思いました。
- ありがとうございます。
- 続けることの大切さ、学びました。
- 経営指針書を作ることで、社長の意識が変わることが、社員に与える影響が大きくなるのが、報告を聞いて改めて感じた。

新会員紹介

イベント業界の毛利家へ！

有限会社 理興 取締役 福嶋 広貴 氏



自己紹介をお願いします。

1989年12月生まれ 神奈川県出身の36歳 蛇年です。
高校卒業後、トリマーやトリミングの専門学校に進学しました。卒業後、プラプラしているところ、「このままじゃだめだな」と感じ、元々みんなで何かを作り上げることが好きだったのでイベント 21 の面接を受けて入社させていただきました。入社後、東京支店に配属となり、そこでメンターとなる上司との出会いがありました。
その後上司と共に神奈川支店へ移動し、修行を重ねた後、千葉支店長を経て現在の(有)理興 R&R へ社長として赴任しました。

会社の業務内容を教えてください。

業務内容としては、イベント設営を中心とした設営全般、備品のレンタルを主に行っています。尾道に来て思ったのですが、地鎮祭等お寺関係の行事設営が多いのでこれも土地柄なのかなと感じています。

仕事のこだわりを教えてください。

私自身、尾道は縁もゆかりもなく来たこともなかったので社員さんをはじめとしてコミュニケーションに力を入れています。2年前まで現場で社員として最前線でやっていました。現場の声や想いに対しては理解がある部分が私の強みなので、それを活かしたうえで相手により良くなってもらうために厳しいことも愛をもって伝えることを意識しています。

イベント 21 で培った経験を理興でしっかりと活用していつ、それに賛同してくれる新しい仲間をどんどん増やして活きたいと思っています。

今後の夢を教えてください。

私は広島県に骨をうずめる気があるので、しっかりと理興を強固な組織に、そして広島の中で大きくなって、ゆくゆくは中国地方でイベントといえばR & Rと言ってもらえるように、「イベント業界の毛利家になる！」が私の野望です！

まだ社長して経験が浅いのでまずは経営指針を作成して進むべき道を明確にしていきたいと思っています。

諸先輩方、是非ビシバシご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。
(文/飛谷・写真/上田)



ぶちええ尾道 2025 「共歩～絆を深める～」

■とき：2025 年 3 月 9 日（日） ■会場：尾道緑地帯広場

【ぶちええ尾道 2025】

3 月 9 日（日）尾道緑地帯広場にて、ぶちええ尾道 2025 を開催しました。

ぶちええ尾道は、東日本大震災の復興を行う被災地に対して尾道青年部として何かできないかと、樽募金と出店、イベントを行い東日本に寄付を行っていました。しかし、その後も各地で自然災害が起こっており、2024 年 1 月 1

日元旦には、能登半島震災が起こりました。復興が必要な被災地への支援を継続していきたい。同友会青年部の先輩方から受け継いだ想いを大切にしつつ、検討を行い、東日本大震災復興支援イベントから【災害復興支援のイベント】として去年進化をし、今年も開催しました。

私は去年初めてぶちええ尾道というイベントに参加をし、尾道支部青年部の仲間が一つのイベントを協力しながら作りあげ、来場者、出店者、青年部の一同が楽しくワイワイとイベントをしている様子を見て、とても良い影響を受け、今回ぶちええ尾道の実行委員長に立候補をさせていただきました。実行委員内で話し合いを重ね、震災復興、災害復興へ歩みを進める被災地へ売上の一部とたる募金を寄付することにより共に歩みを進める。青年部全体で共にぶちええ尾道を作りあげ、一生付き合える仲間づくりのきっかけとする。来場者に尾道で事業を行っている素晴らしい企業を知っていただく事を目的とし、【ぶちええ尾道 2025】のテーマは【共歩】～絆を深める～としました。

2025 年も尾道市を盛り上げるイベントの一つとして、尾道市民、子どもたちが楽しめ心の底から笑顔になれる場所を青年部一丸となり作りあげる。来場者に、大切な方との笑顔の時間を人生の 1 ページに追加してもらえイベントでありたい。また、私達主催側としてイベントを作りあげる中で一生付き合える親友づくりを行い、それぞれが同友会活動に参加して良かったと思う事ができる、イベントにしたいと願っていました。

実行委員長をやりたいと自ら立候補しましたが自分の想いを先輩等に伝えることが難しくテーマを作り出すことが難しかったのですが、青年部部長に自分のぶちええ尾道に対する想いを伝え、気持ちの棚卸を行うことにより、もっとぶちええ尾道に真剣に向き合うきっかけを得たように思いました。その日からエンジンがかかったように毎日【ぶちええ尾道】の準備、話し合いをしっかりと行い当日に臨むことが出来ました。またそのように自ら進んで動くようになり実行委員のメンバーや青年部の会員の方々とより親睦を深めることが出来たように思います。

当日は、昨年に続き、今年度も多くのご来場を頂く事ができました。3つの目的である、①「自社の PR」、②「同友会の PR」、は来場者の方々からも質問をいただく事が多く、また出店や協賛品でも PR が出来たと思います。③「災害復興支援」についてもたる募金は昨年を上回りました。更に、同友会ブースでも例年より青年部会員の参加人数が少ない中でも工夫を行い来場者の方を楽しませ、会員同士でも親睦を大いに深められました。PR もしっかりと行う事が出来、来場者や記者の方々から「以前にもされていたイベントですよね？」とぶちええ尾道の認識が付き始めている言葉をいただく事が出来、地域に定着してきているイベント、ぶちええ尾道になっていると感じました。

実行委員長として至らない事だらけで、役員の方を始め、実行委員のメンバー、また青年部会員の方、尾道支部の先輩方に助けられ、皆様のおかげで最期まで役を果たせる事ができた事、感謝しています。今回の実行委員での経験を活かし尾道支部の一員としてしっかりと成長をしていきたいと思っています。

これからもよろしくお願い致します。

尾道鋼材（有） 亀田 仁志



議長：山根副支部長

■ 開会挨拶（小坪副支部長）

※小坪副支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

※今後の支部例会の準備状況について報告しました。

※4月支部例会は、4/15（火）にシネマ尾道で開催します。テーマは「働く上での本当の喜びとは？」です。報告者は、NPO 法人シネマ尾道代表理事の河本清順氏です。当日はシネマ尾道を会場に開催します。報告は映画館経営について、そしてなぜ尾道で経営するのかパネルディスカッション形式で行います。積極的なお声がけをお願いします。

※5月支部例会は5/15（木）に支部総会として開催します。開会は18時です。例年より開会が30分早いので各委員会、部会で周知をお願いします。記念講演は㈱アイ・エム・シー ユナイテッド代表取締役の今津氏（副代表理事）です。ご予約おください。

※6月支部例会は6/19（木）に開催します。テーマは経営者の自己変革（仮）です。報告者はあめかんむりの土井氏です。

■ 県理事会の報告（代 / 事務局）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。・3/17に開催されました。報告&討議・承認事項は「総会議案（活動報告、決算見込み、情勢・方針、予算案）」について行われました。グループ討論の予定を変更して、県企画費の調整を目的に全体で意見交換が行われました。

■ その他

※経営フォーラム2025の分科会に立候補することになりました。

※3/9に開催された、ぶちええ尾道の開催報告と協力のお礼が清水青年部会長からありました。

■ 委員会・部会の報告

※各委員会・部会より報告がありました。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部会長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数

現在会員数

130名

年度末まで

127名

【入退会のお知らせ】

今月は入退会の希望はありませんでした。

■ 閉会挨拶（山根議長）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

5月7日（水）19:00～ 会場：工房おのみち帆布

■ 討議事項

テーマ：中期ビジョン策定と推進に向けて その5

報告者：浮田総会議案検討委員長

【文章について】

3/17に担当理事が集まり総会議案検討委員会を開催しました。

議案委員会では、今回は文章の読み合わせは行わず、今後2週間をめどに修正の指摘をお願いします。修正内容は理事LINEで集めたいとなりました。

→承認されました。

【予算について】

2025年度予算は、申請のあった額を入れました。すると予算オーバーしたため、議案委員会で予算調整しました。調整の手段は支部総会、支部理事会等にペーパレスをお願いする方向です。この調整を行い、155,160円の支部運営予備費を確保しました。ただ、支部運営予備費は使途が確定しており約120,000円は確実に執行されます。

また広報委員会からでべらの発行に関わる費用が不足していることが分かり、追加予算が必要になりました。

青年部会、新年互礼会についても予算申請があります。

※高垣委員長がでべら予算について経緯を説明しました。その後広報委員会からの予算申請について意見交換しました。

【まとめ】

以下浮田総会議案検討委員長からのお願い

①議案書の文面確認・変更箇所等の提案→4/15（火）迄

②予算案について各委員会部会の予算変更可能か？の再検討→4/11（金）迄、広報委員会、青年部に加えて、政策委員会、求人委員会等もお手数ですが、再度変更後の予算計画書を事務局迄お願いいたします

スケジュール

2025 年 5 月												2025 年 6 月											
	1	7		14	15		19	22					4	5					19				23
	経営労働委員会	支部理事会		求人社員教育委員会	支部総会		広報委員会	県総会					支部理事会	経営労働委員会					支部例会				広報委員会

一般社団法人

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：〒720-0066 福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F

T E L：084-923-0286

F A X：084-923-0284

e-mail：fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】立石 良典

【広報委員長】高垣 将一



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利！



QRコードから簡単ログイン！